

教 科	科 目 名	単位数	学年	学科 または コース	履修
保健体育	体 育	2	3	全学科	必履修
科目の ねらい	①各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わわせる。 ②体調を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。				
使用教材など	現代高等保健体育（大修館書店）				

期	月	学 習 内 容	学習のポイント
一 学 期	4	「体育」学習について 体育理論 体づくり運動 選択制授業 選択 1 バasketボール バレーボール	・ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方などについて学びます。 ・自己の体に気付き仲間と協力して体力の向上を図り、生涯にわたって運動に親しめるようにする。 ・計画表をもとにリーダーを中心に学習を進め、集団的技能や個人的技能を発揮し、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わいます。
	5		
	6		
	7		
二 学 期	8	陸上競技（長距離走） 選択制授業 選択 1 バasketボール バレーボール 選択制授業 選択 2 バドミントン 卓球	・自分の能力に応じたペースで走ったり、記録に挑戦したりします。 ・計画表をもとにリーダーを中心に学習を進め、集団的技能や個人的技能を発揮し、作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさや喜びを味わいます。
	9		
	10		
	11		
三 学 期	12	スキー	スキーターン等の技能を修得し、斜面や雪の状態に適応できるようにします。
	1		
	2		

評価項目・学習にあたって・評価点		
①関心・意欲・態度	ルールやマナーを守り、安全に留意しながら授業に取り組もうとする。	各学期の成績と、各領域（各運動や理論）の成績を総合して、学年の学習成績とします。
	評価の主たる方法 行動の観察	
②運動の技能	技能や動きの質が高い。 記録や技能が優れている。	

	評価の主たる方法 行動の観察 スキルテスト	
③思考・判断	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ、克服しようとしている	
	評価の主たる方法 行動の観察	
④知識・理解	各種目の特性とルールや基本技能を理解している。	
	評価の主たる方法 行動の観察	